

登録コード	A3591335	開講年度	2026			
授業科目	プレゼンテーション演習				担当教員	富岡 郁夫
英文授業名	Presentation					
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目
					備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ					
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				専門的な科学英語の理解と内容の発表ができる。	
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				専門的な科学英語の理解と内容の発表ができる。	
	2 0 2 6 A3 編（24A）, 2 0 2 5 A3 編（23A）, 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ					
	【2024年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				専門的な科学英語の理解と内容の発表ができる。	
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				専門的な科学英語の理解と内容の発表ができる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作製方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。					
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連した論文について、スライド等を用いて発表する。					
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を勧める。また、各回で配付される発表レジュメなども活用して自主学習に役立ててもらいたい。					
(7)成績評価の基準	各自の研究計画および研究報告について、1)背景・目的・方法・結果・考察をそれぞれポイントとなるべき部分を押さえたスライドや補足資料などを作成、2)限られた時間の中で他の参加者が理解しやすいプレゼンテーションの実施、さらに3)的確な質疑応答が求められます。 この1～3が十分に達成できかつ質疑応答に的確に答えられる：卓越している この1～3が十分に達成できている：かなり上にある この1～3が概ね達成できている：やや上にある この1～3の基本事項が達成できている：水準にある					
(8)事前事後学習の内容	事前学習として自分の発表の準備、特にスライドの作成を行って下さい。また他の参加者の事前資料などを熟読し、不明点や疑問点を明確にしておいて下さい。					
(9)テストやレポートの予定	なし					
(10)成績評価の方法	「成績評価の基準」に挙げた内容に対する取り組みの成果とを総合的に判断し、下記の通りに評価します。					
(11)質問、相談への対応および連絡先						
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には、単位を認定しない。					
【教科書】	特に指定しない。					
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）					